



「八王子祭囃子連合会・会報」第4号（新年号）
 平成26年（2014年）1月26日 発行／発行者 山崎英明（八王子祭囃子連合会会長）
 事務局 〒193-0931 東京都八王子市台町1-17-12 大久保明彦（事務局長）

[主な記事]

- 名誉顧問ご挨拶 ●協賛会員ご挨拶
- 会員寄稿：副会長 和田賢一／副会長 木下賢二
- いちょうホール公演アンケート

【加盟団体】 浅川囃子連・五日市上町囃子連・犬目囃子連・大横町囃子連・片倉囃子連・上柚木囃子連・敷田囃子連・東雲会・諏訪伝統芸能保存会・千木良囃子連
 てんた会囃子連・中澤囃子連・並木はやし連・西三囃子連・八幡八雲神社両社囃子連・日野囃子愛好会・日野囃子保存会・本町囃子連・みつめ囃子振興会
 南大沢囃子連・宮下囃子保存会・元横囃子連鼓会・鎌水囃子保存会・よすけ会

ご挨拶

名誉顧問 萩生田光一



衆議院議員

皆様お揃いで健やかに新しい年をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は八王子祭囃子連合会にとって創立20年という大きな節目を超えて益々充実した会として新たなスタートをする事ができました。

会発当初からの理念である「祭囃子は心のふるさと」を大切に八王子祭りの大舞台はもちろんの事、各地の祭礼やイベントで会員の皆様のご活躍いただいている事を誇らしく思っております。

私も、皆様のご支援で国政に復帰以来充実した活動の日々を送らせていただいております、平成26年度予算ではかつて廃案となった伝統文化支援事業を「伝統文化親子教室」という形で復活することができました。

是非この機会にお囃子や獅子舞、太鼓の楽しさを全国の子供たちに知っていただければと願います。今年一年もお世話になりますが、会員各位のご健勝をお祈りし新年のご挨拶いたします。

ご挨拶

協賛会員 滝沢景一



前東京都議会議員

日頃より、祭囃子に関わる皆様にご敬意を表します。各囃子連の方々には練習場所を確保し、仕事や家庭の合間を縫って活動されています。

暑い日も、寒い日も練習にいそしんでいらっしゃる。地域のお祭りのため、日頃の活動にご尽力をいただいております姿を日頃より拝見をして、感銘を受けております。

時には、依頼を受けて地域の活動以外にも活動の場所を広げられ、いちょうホールなどで合同の演奏もされ、お囃子の奏でる音を披露されています。

次代を担う子どもたちの育成をされるがらの囃子連の奏でる音に精進されていると思います。

昨年には、創立20周年を迎えられ、さらに、各囃子連の皆様には神社祭礼・八王子まつりなど地域の祭りにおいて引き続きお囃子の音色を奏で、お祭りを盛り上げていただきますようお願いいたします。

昭和三十年代の祭り

八王子祭囃子連合会 副会長 和田賢一



本町にあった当時の市役所前

で山車は元横山町だけど、囃子は本町が一番いい、と言っていたものです。

私が囃子を習い始め、山車に乗るようになると、一番喜んだのは父親ではなかったかと思っています。父が亡くなり、葬儀のときに本町囃子連のベテランの方々が祭壇の写真を見て「和田さんのお父さんだったのか」と驚いていました。そのように憶えられるほどお囃子好きだったのです。

私自身も、まだお囃子を習っていないときは、テープレコーダーをもって録音に勤しんでおりました。また父親ともども写真も趣味でしたので、一緒に祭りの撮影をしておりました。我が家のアルバムを見ると、半分以上が祭りの写真です。ここに掲載した写真は父が撮影したものです。

現在、八王子祭囃子連合会の副会長を拜命しており、会員団体の皆様と和気藹々に様々な活動をしております。それまで交流のあまりなかった他の流派のお囃子も聞く機会が増え、素晴らしい仲間ができています。山車が「ぶつつけ」を行うときや、すれ違うときに囃子方同士挨拶ができ、連合会があつてよかったとつくづく思います。

これからも伝統のある囃子と祭りを継承し、子ども達に伝えていかなければなりません。私のように楽しい祭りの記憶があれば間違いなく引き継がれます。子ども達が楽しめる八王子まつりにすべく連合会一丸となって頑張つてまいります。

協賛会員、後援会員皆様のご指導ご鞭撻を本年もよろしくお願い申し上げます。



曳き子の少ない町会では、農耕用牛が補助して曳いていました。

小学生の夏休み、私にとって何よりの楽しみは祭りでした。祭りは夏休みに入つてすぐに始まりました。当時は七月の二十三日、二十四日の八幡八雲神社の祭礼でした。山車が小屋から引き出されて町内の御酒所に配置されると、囃子もないうちから、一日じゅう山車を眺めていました。父親も祭りが大好きであつたことから、多分生まれてまもないころから、山車の側に抱かれていたものと思います。実際、山車の象鼻に座らされ、しがみついていた記憶があります。

一日目は町内曳行でしたが、当時は田町の方まで曳いて行きました。まだ妖しい雰囲気、建物が健在で（ご存知の方がおられると思いますが）、子ども心に「ここはなんだろう？」と感じていました。

囃子方の休憩中は太鼓（胴の厚みがないもの）を代えて子ども達に叩かしてくれました。笛は勿論ないのですが、一生懸命真似をして叩いたものです。その経験からお囃子好きになつたのかもしれない。

父親も本町のお囃子が大好きで、よく八王子のなか

夏の日の思い出

八王子祭囃子連合会 副会長 木下賢二



今から40数年前、それが私が5歳の夏だったと思います。ある暑い日の夕方、私は母に手を引かれて出かけました。そこで見た光景は、今でも私の脳裏に鮮明に



焼き付いています。細い路地から大通りに出るとそこにはものすごい人混みと、神社の社にゆらゆらと火を灯した様なものが、ミシミシと音を立てて動いています。それはそれは、5歳の子供には不思議で、幻想的で、そして衝撃的な光景でした。しかし、それと同時にその光景は5歳の私の心を大きく揺さぶりました。そうです、それは八王子まつりで、国道20号を巡行する山車を見たのです。そして、山車の中から聞こえてくる祭り囃子の音色と相まって、ますますその不思議な空間に引き込まれていきました。本来多くの子供が、お祭りの一番の楽しみであるはずの数々立ち並ぶ夜店に目もくれず、私は一生懸命に山車を追いかけていました。まさにその光景こそが、私がお囃子を始

めるきっかけとなった原風景だったと思います。そんなことから今でも毎年、八王子まつりの時期になるとあの日の光景を思い出します。私自身お囃子を始めて40余年になりますが、未だに八王子まつりで山車を見ると心が躍り、わくわくしてしまいます。それほどお囃子と山車というものには魅力があります。

私ども八王子祭連合会では毎年秋に、いちょうホールにおきまして市民文化祭の一環と致しまして、約20年前よりお囃子の共演会をやらせていただいております。その公演のタイトルは『祭り囃子は心のふるさと』です。手前味噌にはなりますが、なかなか素晴らしいタイトルであると自負いたしております。人それぞれに心のふるさとがあるかと思えますが、そのふるさとを思い出す一つのきっかけとして祭り囃子が役立てればと、思いを込めまして命名いたしました。

また、一口に伝統芸能の保存・伝承といいますが、それはただお囃子の技術を後継者達に伝えるだけではなく、各地の祭礼やイベント等で、あの40数年前に私が引き込まれたような魅力ある祭り囃子を、見に来られている皆さんにもお届けしなくてはいけないと思っています。そして八王子まつりを始め、各地の地元の祭礼の時期になると、祭り囃子の音色に釣られ、それぞれのふるさとを思い出していただけるような、魅力あるお囃子の技術を磨くべく、これからもますます稽古に精進して行きたいと思えます。

数ヶ月後にはまた暑い夏がやってきます。今年も八王子まつりの山車の上から、40年前の私のように目を輝かせている少年を見つけないと思いません。



● 昨年の主な行事・1
八王子まつり 八月二日～四日
● 西武信金駐車場居囃子

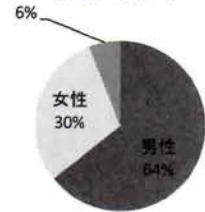


八王子祭囃子連合会二十周年式典 六月二日
● 八王子京王プラザホテルにて

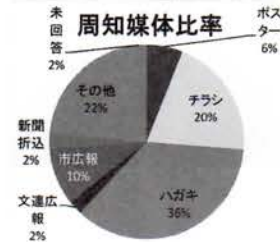
八王子市民文化祭「いちようホール公演“祭り囃子は心のふるさと”」

平成25年10月19日(土)開催 アンケート結果

男女比率



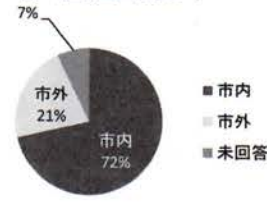
周知媒体比率



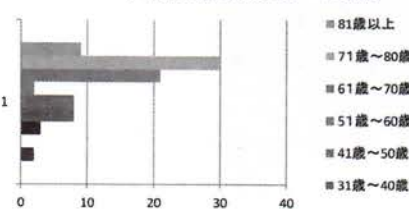
リピート率



居住地比率



年齢別来場者数



主なお客様アンケート

- 大横町の皆様シブイ 四助ステキ
- 自分も囃子をやっており見学に来た。他人の囃子を見るのも、為になります
- こんなに沢山のお囃子が聴ける機会を今後は是非続けて聞かせて戴きます
- もつと多くの囃子の方々が参加すると良いと思います。
- 改めて日本文化の良さを感じて良かったです
- 日頃の練習が大変だと思えますが、素晴らしい公演でした
- 子供も来て楽しく見せてもらいました 色々な流派があり奥深いものだと思いました
- お囃子体験もさせて戴けると、うれしいなあ〜と思いますとてもすてきでした
- 小さいころの郷愁がわいてきた 夢中になってみてしまい大ファンになりました
- てんた会の囃子は昔を思い出す囃子でした
- 子安みとみ会の囃子は、とても良かった
- 日野囃子子安みとみ会は囃子・踊りに共にはばらしい 千木良のおかめはチャーミング
- もつともつとこのような公演を広めて地元を知ってもらいたい
- 毎年行っているのは知っていましたが、初めて見させて戴きました。有難うございました
- 連合会のなかでも重松流が宮下囃子のみとは今回初めてですが、あと神田と目黒が大多数
- 神田・目黒の笛の音がどう違うのかよく聞きたいねんねこの囃子を聞きたい
- 湘南の辻堂で囃子指導をしています。いつの日か叩き合える日が来ることを願います(一部抜粋)
- 八王子まつりの辻合わせに一箇所に時間が掛かり過ぎるもつと引き回しをしてほしい
- 以前、中古品の販売をやっていたり、グッズ販売をやっていたのが良かった、是非復活してほしい

昨年一年を振り返って

てんた会囃子連

昨年一年のメインイベントは、なんと言っても連合会が創立二十周年を迎えたことです。

あの広い会場に多くの会員の方々お客様に来て頂いた事に連合会二十年の歴史を感じ大変感動をしました。式典当日までの準備を執行役員を中心に、各会のメンバーが協力してからこそのだと思えます。

昨年の二十周年を通過点として、五十年、百年と成長し続けるように協力していきたいと思えます。

年々、連合会の会員数が増えていき、加盟団体も増えていきます。一緒にお囃子ができる人を育成し、八王子まつりをはじめ、各地域の祭礼を盛り上げるために日々の稽古に精進していきたいと思えます。

●昨年の主な行事・2

いちようまつり 十一月十六日



九月 連合会の山車が「めじろ台町会」に嫁いでいきました



「寄居・飯能まつり」視察旅行 十一月三日

